

## <4年ぶりの「3町内会合同防災避難訓練」>

3月5日(日)の午前中、コロナ禍で3年間実施されていなかった岩瀬・今泉・今泉台の「3町内会合同の防災避難訓練」が開催されました。



あいにくの曇り空と、思わぬ寒さの中でしたが、今泉台からは120名以上が参加。これは、岩瀬と今泉の町内会を合わせたよりも多い人数です。皆様の日頃の防災意識の高さが際立ちました。



救命救護の胸部圧迫では、その圧迫力の強さと、救急車が来るまで圧迫を継続しなければいけないという事実に驚き、給水では意外なほどの水の重さに運搬の困難さを思い知らされと、驚きの多い半日でした。



今泉小学校には、100 m<sup>3</sup>の飲料水タンクがあり、10,000食の非常食が備蓄されているそうです。しかし、今泉台からの移動距離の長さや、避難者収容能力などを考えると、誰もが今泉学校へ避難する、というわけにはいかないのかもしれない。

また、参加者には、保存食料のアルファ化米や、水の要らない緊急簡易トイレが配布されました。これは、自宅で避難生活を送るために必要なものです。改めて、今泉台の災害対策の中心が「自助」とならざるを得ないことを痛感しました。

当日は、町内に6ヶ所ある災害時集合場所に集合した後、指定避難所である今泉小学校に移動しました。集合時刻が早すぎたという反省点もあり、来年以降の訓練に生かしたいと思います。



朝 8 時すぎ、今泉台町内 6 カ所の災害集合場所に集まり、今泉小学校へ移動。想定を超えるスムーズな移動だったため、待ち時間が多くなってしまいました。

今泉小学校にある災害備蓄品の説明。近隣住民全員が避難できるキャパはないので、可能ならば自宅で避難生活を送らなくてはなりません。トイレで水が使えなくても汚物を処理できる「便袋」の準備は必須。



胸骨圧迫を体験。肘を伸ばし、胸の真ん中を強く押しします。30 秒間行うのは、かなりの体力が必要です。



水消火器を使った消火訓練。合言葉は「き・ほ・ん」です。  
①きいろのリングを抜いて  
②ホースを持ち ③ん!! と  
思いっきりレバーを押すっ!

断水した場合、給水所から自宅まで水を運ばなくてはなりません。6 ㍓の水は6kg。手で持つのは大変ですが、こんなリュック式の給水袋なら、かなり重さが軽減。「これなら運べそう」との声が。



今泉小学校の地下には、災害用飲料水貯水タンクがあります。水道管に接続されているので、常にきれいな水が流れているとか。

このマンホールが貯水タンクの入り口。1人1日3㍓として、33000人の飲料水が確保されています。



最後は、鎌倉市消防団による放水訓練を見学。大迫力です！ カッコいい！